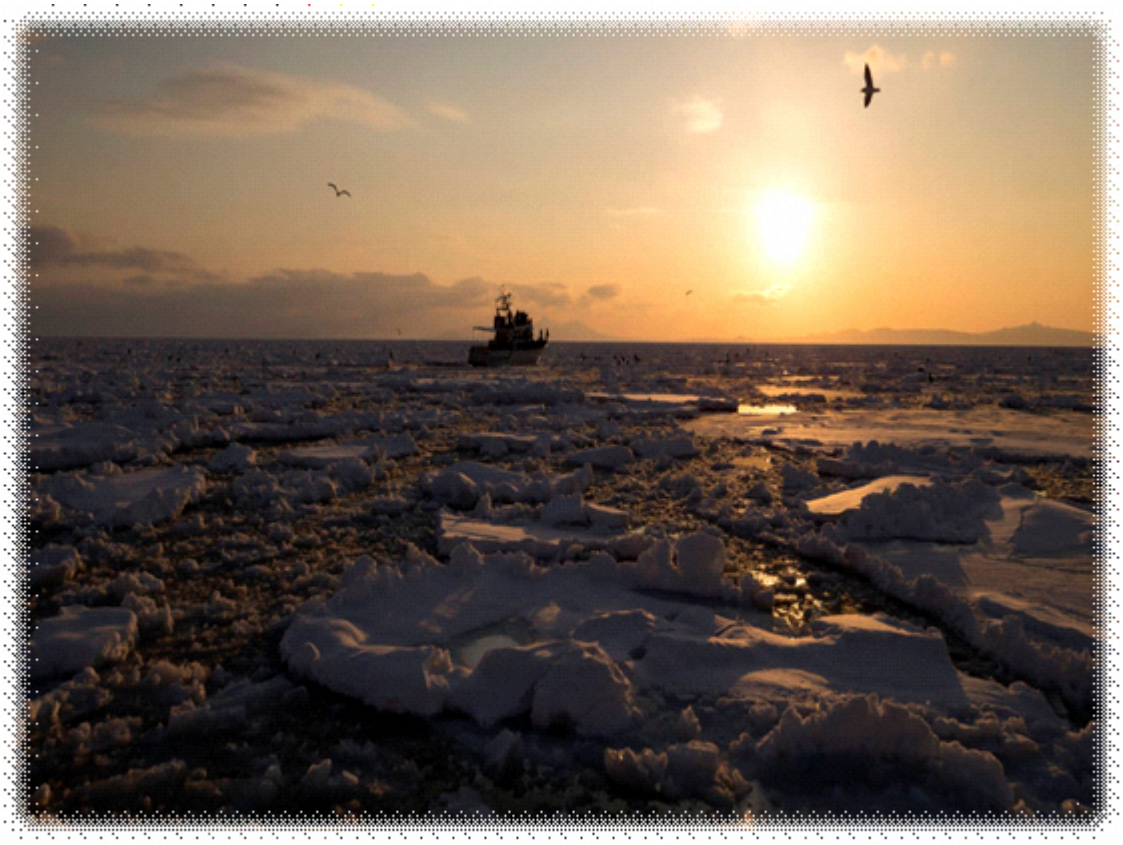
2020年度海洋教育パイオニアスクールプログラム

北海道の海洋教育

実践記録集



北海道海洋教育推進協議会

北海道における海洋教育の推進

北海道海洋教育推進協議会

１　海洋教育に取り組む背景

道教委では、これまで地域の未来を担う人材を育成するため、地域の良さや地域で生活を営むことの意義等について小中高校が一貫して取り組む実践研究を実施するなどして、地域の教育資源を題材としたキャリア教育の推進に努めてきた。

本道は周囲を３つの海に囲まれるという地理的な特徴を持つことから、海について知り、利用しながら守るなどの海洋教育を進めるのに適した環境にあるものの、現在、その優れた実践や成果の共有ができていない状況にあることから、道教委として、海洋教育についてのモデル地域を選定した取組を行い、成果の普及等を通じて地域の教育資源を生かした教育をより一層推進するため、海洋教育に取り組むこととした。

２　実践の目的

(1) 四方を海で囲まれ、水産業を基幹産業とする北海道における「海」をテーマとした探究的な学習プログラムの開発

(2) 「海」をテーマとした地域学習、体験学習、産業教育等の学びを通した海の仕事への理解促進

３　実践の概要

本道を囲む日本海、太平洋、オホーツク海の３つの海ごとに、古平、厚岸・浜中、羅臼の３地域を選定し、幼小中高校が地域特性を生かした海洋教育の実践を行う。

各地域ともそれぞれの隣接する海に関わる地域産業や自然保護等について学ぶ取組を中心に、地域の協力を得て実践し、海洋教育の授業研究会や他地域の教員を対象とした教員研修会、地域の保護者を対象とした報告会を実施するなどして、各地域の取組の成果を普及し、地域ぐるみで学校の海洋教育の振興が図られることを目指して取り組む。

４　支援体制

「北海道海洋教育推進協議会」を設立し、海洋と人間の関係についての理解を深め、海洋環境の保全を図りつつ、持続可能な海洋の開発や利用に関わる知識を持つ人材を育成するため、海洋教育を実践するモデル地域を選定し、実践校の取組成果の普及等を通じて本道の海洋教育の推進を図る。

また、外部有識者による「運営指導委員会」を「北海道海洋教育推進協議会」に設置し、実践校への指導助言を行う。

「北海道海洋教育推進協議会」の事務局（北海道教育庁学校教育局高校教育課）は、海洋教育を全道に普及させるため、インターネット配信を行う全道成果発表会を開催するほか、教員研修会への講師派遣などの支援を行う。

５　モデル地域及び実践校

(1) 日本海地域

・実践校･･･古平小学校、古平中学校、小樽水産高校

(2) 太平洋地域

・実践校･･･散布小学校、厚岸翔洋高校

(3) オホーツク海地域

・実践校･･･羅臼幼稚園、春松幼稚園、羅臼小学校、春松小学校、知床未来中学校、羅臼高校

6　実施計画概要図

7　スケジュール

2020年度												2021年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
海洋教育推進協議会　役員会			運営指導委員との学校視察	運営指導委員との学校視察	特例校の申請（小・中）	全道成果発表会及び運営指導委員との研究協議					実践記録集の作成、副読本（案）の作成	海洋教育推進協議会　役員会			運営指導委員との学校視察	運営指導委員との学校視察	特例校の申請（小・中）	全道成果発表会及び運営指導委員との研究協議		副読本の完成			実践記録集の作成